

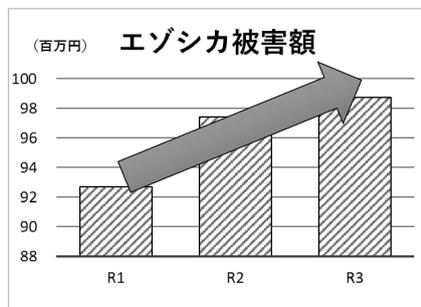
粗飼料調整安定基盤の強化

十勝農業改良普及センター十勝東北部支所 地域第二係

1 活動対象及び概要

普及対象：螺湾TMRセンター構成員(6戸)

2 背景・ねらい



町内のエゾシカ被害額が増加

TMRセンターも多く被害が多い！



活動のねらい

エゾシカ被害状況の把握
獣害対策(電気柵)の実施ほ場面積の拡大

3 活動の経過

① 1農場におけるTMR保管場所での被害調査

頭数分購入しても
TMRが足りない

飼料保管場所に赤外線
カメラを設置

エゾシカの食害が確認
され電気柵を設置



一晩で
約70頭
エゾシカを確認！！

電気柵設置で
1日あたり**約270kg**
被害を防いだ！！

② 1ほ場における飼料用とうもろこしの被害調査

電気柵なし



子実がなく、茎葉は白い

電気柵あり



青々と生育している

電気柵設置で
約1,000kg/10a
生収量の増収！！

デンプン含量は
2.7倍！！

③ 2ほ場における採草地の被害調査



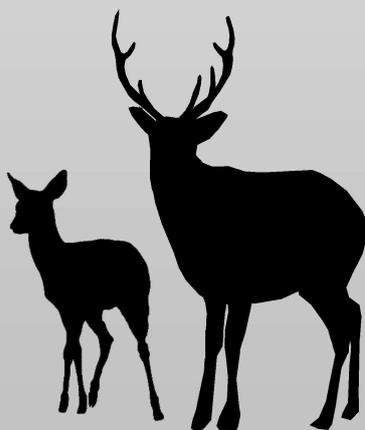
約2,800kg/10a
1番草で増収！

約2,000kg/10a
2番草で増収！

合計4,800kg/10a
増収！！

④ 被害調査のエゾシカ被害防止額を算出した

TMR (1農場)	9,950円/日
飼料用とうもろこし (1ほ場)	16,000円/10a
採草地 (2ほ場)	62,400円/10a



4 活動の成果

目標	成果	
電気柵設置数	飼料保管場所	1カ所
2ほ場	飼料用とうもろこし	3ほ場(22.5ha)
	採草地	1ほ場(1.1ha)



目標達成！



農業者からの声

エゾシカによる被害は思っていたより大きかった

エゾシカ被害の対策がより重要となってくると感じた



次年度はさらに
電気柵設置面積を
拡大予定

5 今後の対応

今後の課題はエゾシカによる被害対策として電気柵設置面積の拡大である。
本年で野生獣害対策の理解を得られたことから課題は終了とする。